
危機管理マニュアル(利用者版)

Version 1.0 H29.7.1

この冊子は、福山少年自然の家を利用中に何らかのエラーやアクシデントが発生した場合に起こり得る被害を最小限に止め、可能なら被害そのものを回避できるよう緊急時における団体指導者の対応要領を示した「危機管理マニュアル」です。

「団体指導者は、体験活動指導者研修やサテライト研修、歩く活動の実踏等または各団体における危機管理研修等の事前学習を行っている」ということを前提としており、これ一冊で1から100まで説明する、理解してもらい、実行可能になる…というようなことは想定していません。

「普通救命講習を受講したことはあるが、実際の手順を今すぐ確認したい」

「AEDが初めての人でも使えるような仕組みになっていることは知っているが、設置場所がどこであるかわからない。事前に使用上の留意点を知っておきたい」

「フランクフルトを喉に詰まらせ、苦しんでいる。口の中にフランクフルトの先が少し見える。頑張れば手指で取り除けるかもしれない。定石としてはどう対応すべきか」

等々というような場面で、宿泊室入室時等にザザッと目を通しておけば吐嗟の対応に役立ったりイザというとき再確認できたりする——ということを目指しています。

緊急時に団体指導者が毅然として、的確な対応ができなければ、事態は悪化します。施設職員や救急車が来るまで（できることすら）何もしないで待っている。逆に、してはならないことを勝手にやってしまう…というような事態は、何としても避けたいことです。そのため、記述に当たっては、「発生時にどうするか」ということに重点を置いています。予防的措置については最低限のことにしか触れていませんので留意してください。また、海や河川における水難事故など、福山少年自然の家で想定しにくい事故については触れていません。逆に、不審者対応やテロ対策などのように、発生頻度は小さくても完全な予防が困難で甚大な被害が想定される事項については掲載しました。

〈関係機関との連携について〉

作成にあたっては、福山地区消防組合西消防署、福山西警察署の指導を受けました。

〈付録について〉

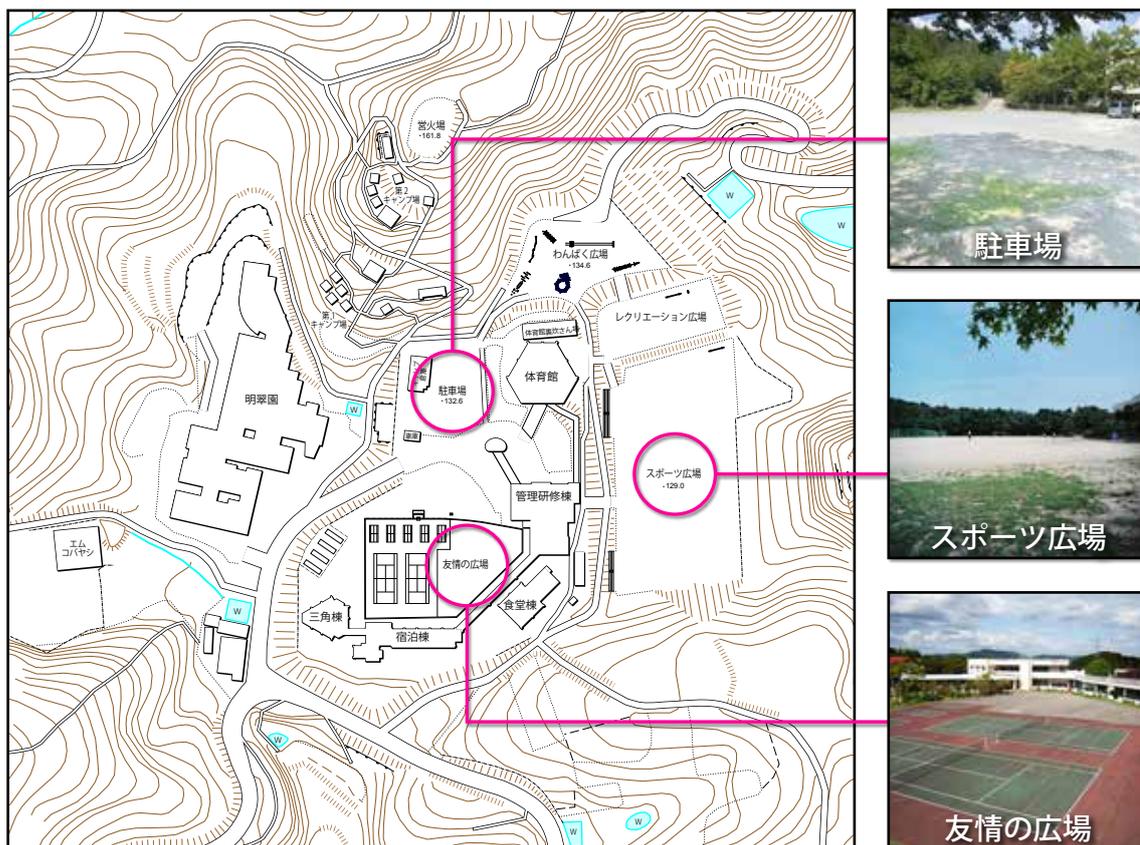
最重要事項を簡潔にまとめて携帯できるようにした「QRコード・レファレンスカード」や「活動エリア安全マップ」などについては、このファイルから抜き出して自由にお使いください。書き込みOKです。退所時はお持ち帰りください。

緊急避難場所

(1) 駐車場, スポーツ広場, 友情の広場

福山少年自然の家では、火災や地震等発生時の緊急避難場所を「駐車場」、「スポーツ広場」及び「友情の広場」としています。実際の火災発生場所や延焼状況によって具体的な避難場所は変わりますが、非常放送等をよく聞いて、落ち着いて行動することが大切です。

「駐車場」「スポーツ広場」「友情の広場」への避難経路や、実際に火災が発生した場合、地震が発生した場合の避難要領については各具体のページで確認してください。



(2) 非常放送や職員による誘導がない場合の避難

火災が発生すると、間もなく停電することが考えられます。福山少年自然の家には停電時に自動的に起動する発電設備がありますが、放送機器や内線電話の配線が焼け落ちて肝心の時に機能しないことも考えられます。また、テロ等発生時には、最初に電源と通信手段が遮断されることが想定されます。

団体指導者は、非常放送がない場合や夜間などで避難誘導できる自然の家職員が不在または不足している場合であっても、自分自身と子どもたちの命を守るための行動を起こさなければなりません。

(3) 野外活動時の緊急避難場所

オリエンテーリングやウォークラリーなど、野外を歩く活動を行っている時に怪我をしたり雷に見舞われたりした場合の緊急避難場所は「駐車場」「スポーツ広場」「友情の広場」とは異なります。『道迷いの予防、道迷い発生時の対応』のページ及び付録の地図等を確認してください。

宿泊室入室時の確認事項

(1) 宿泊室に到着したら



- 入口ドア内側の避難経路図で、非常口を2カ所以上確認してください。
- 非常口へは、どの宿泊室からも2方向以上の避難経路が用意されています。非常口までの経路を実際に歩いて確かめてください。
- 室内では、火気厳禁です。喫煙も蚊取り線香の利用もできません。

(2) 火災を発見した場合は



- 近くの火災報知機のボタンを押すと同時に、事務室（内線 15）に連絡してください。
- 周囲の人にも大声で火災の発生を知らせてください。
- 煙または臭いなどで火災と思われる場合も、事務室（内線 15）に連絡してください。

(3) 施設内で火災が発生した場合には（避難準備）



- 非常放送により、火災の発生を知らせます。落ちついてよく聞いて、火災の発生場所、避難場所、避難経路を確認してください。
- 利用団体代表者は、避難開始時の人員確認を行ってください。避難開始前に「あ、おかし（慌てない／押さない／駆けらない／喋らない）の原則」を確認し、避難中は徹底させてください。
- 可能であれば、タオルを水で濡らし、鼻と口を覆ってください。その余裕がない場合は、衣服の袖などで鼻と口を覆ってください。宿泊室から外へ出る際は、延焼防止と煙の拡散防止のため、必ず窓及びドアを閉めてください。

(4) 避難時に気を付けること（避難中、避難完了時の行動）



- 利用団体代表者は、「進め」「止まれ」「段差あり」等の合図を的確に行い、避難中の児童生徒の安全確保を行ってください。
- 屋内では、壁にそって姿勢を低くし、煙のやってくる方向と反対側の非常口を選んで進んでください。
- 避難が完了したら、利用団体代表者は、児童生徒を集合場所に整列してすわらせ、避難集合場所に待機している自然の家職員に避難人数等を報告してください。一度避難してから宿泊室に戻ることは、絶対にやめてください。

(5) 地震が起きたら



- 地震発生時の対応方法の原則は、「安全行動1・2・3」です。1. しゃがむ／2. 隠れる／3. 待つ——の安全行動により、地震発生時は姿勢を低くして自分の安全を守ってください。
- 地震後の避難方法については、火災発生時と同じです。非常放送の内容をよく聞いて、避難してください。
- 避難時は、窓ガラスから離れてください。落下物に注意し、頭を防護してください。

火災等発生時、現場にいる者の対応

(1) 大声を上げて周囲に知らせる



緊急事態発生時には、「火事だ!」「不審者侵入!」など、何があったのか大声を上げて周囲に知らせることが大切です。大声を上げるだけで、周囲に危険を知らせて被害の拡大を防ぐことができます。また、ケガをした人など、要救護者がいる場合も、周囲に応援を求めることで救出のスピードアップを図ることができます。

(2) 直ちに報告する——第一報は、『一何主義』で構わない

「火事だ!」「不審者侵入!」などの緊急事態発生時は、自然の家事務所にも直ちに報告してください。第一報は、「火事だ!」「不審者侵入!」などのように“何があった”ということだけの『一何主義』で構いません。5W1Hを完全に揃えることよりも、スピードを重視してください。

いち早く報告することで、現場で臨時火急の対応をしている間にも、「119番や110番への通報」「緊急放送」「AEDや消火器の手配」「正門の開錠と開扉」「到着した救急隊員や警官の誘導」「立入禁止措置等による二次災害の防止」など、自然の家事務所からの応援を得ることができます。



事務所、当直指導員室、警備員室
☎ 084-935-7166

自然の家の
常時使用
チャンネル
TRX ch7

貸出トラン
シーバーの
チャンネル
TRX ch(※)

※番号は、調プロの
団体名左側に記載
してあるNo.です。

(3) 逃げよう! ——緊急避難行動優先

例えば火事の場合、最初にそのことに気付くのは、「パチパチ音がする」とか「変なおいがする」など、いつもと違う“何となく”の異変です。殆どのケースで、「明確に炎が見える」とか「煙が入ってきた」とかいうことよりも先に、この“何となく”の異変に気が付きます。

そのときに大事なことは、緊急避難のために決断することです——。現場にいる指導者は1秒で緊急避難することを決断し、3秒以内に行動を開始しましょう。

危機管理状況下では、「火を消す」「逃げる」など直面した問題の解決に意識を集中してください。安全・安心は全ての前提であり、子どもの安全を守ることが全ての業務に優先する業務です。



傷病者発生時の救護行動ABC

(1) 直ちに実行しなければならない3つのこと

緊急度が高い場合の順序は、このまま ABC の順です。A(119 番)と B(一次救命措置)は並行して行うこと。

A Ambulance 救急車の要請

※要救護者は本人が楽な姿勢で安静に保ち、動かさない
——「ステイ」が基本



福山少年自然の家の所在地
福山市金江町藁江 (かなえちょうわらえ) 619-2

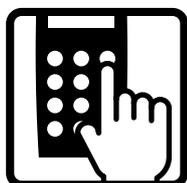
B Basic Life Support; BLS 一次救命処置



※CPR：Cardiopulmonary Resuscitation 心肺蘇生法
1分間に100回のペースで胸骨圧迫

※AED：Automated External Defibrillator 自動体外式除細動器
音声案内に従って簡単に使用できる

C Call Crew 事務所への緊急連絡



※事故、怪我、火災…等、「何があった！」を直ちに一報
→状況が判明してきたら、続報を入れる

☎ 084-935-7166

(2) 意識障害、痙攣^{けいれん}、大量出血、顔面熱傷など緊急度が高いとき

A 直ちに 119 番救急車を要請→ **B** 胸骨圧迫や人工呼吸などの一次救命処置→ **C** 自然の家事務所に緊急連絡を入れてください。A (119 番) と B (一次救命措置) は、並行して行うのが基本です。一次救命措置の方法は、その 119 番で指導を受けることができます。

チョークサイン (窒息状態を示すしぐさ) があるときは、①自分で咳をできる状態であれば、咳き込ませてものを取り除くのが最善です。②自分で咳をすることができない場合は、腹部突き上げ法または背部叩打法 (はいぶこうだほう) により、喉などに詰まったものを取り除いてください。③すでに反応 (意識) がない場合は、腹部突き上げも背部叩打も行わず、胸骨圧迫を行ってください。

※団体が直接救急車を要請した場合でも、事務所へは必ず連絡を入れてください。自然の家職員が正門の開錠や開扉、救急隊員の誘導など、迅速な救護に必要なサポートを行います。

(3) 軽度のケガや骨折の疑い、意識がはっきりしている場合

C 速やかに自然の家事務所に連絡してください。→ **A** 事務所から必要に応じて救急車を要請します。→ **B** 状況に応じ、必要な場合は速やかに救命措置を行ってください。

火災発生時の避難行動

(1) 避難行動の原則は、「あ、おかし」です

避難開始前に「あ、おかし（慌てない／押さない／駆けらない／喋らない）の原則」を確認し、児童生徒に徹底させてください。同時に、避難人数を確認しましょう。



わてない

あわてると、まちがった方向へ逃げてしまうおそれがあります。また、避難前の人数確認を忘れて、誰かが逃げ遅れてしまう危険性も高まります。まず落ち着いて、点呼等により人数確認をしましょう。



さない

避難中にこけると、次々に人が倒れたり重なったりして大きな事故につながる場合があります。後の人が先へ進めなくなる恐れもあります。人を押ししたり追突したりしないように、注意は前方に向けさせましょう。



けらない

屋内で走ると、転倒の危険性が高まります。走ると、歩くときよりも余分な酸素を消費し、有害な煙を吸い込みやすくなってしまいます。屋内では、煙より少し早めのスピードで、落ち着いて歩かせましょう。



やべらない

しゃべっていると大事な指示や注意が聞こえなくなってしまう。みんなが騒がしい状態だと、周囲のようすも分かりにくくなります。避難中は黙らせ、非常放送や引率者の指示をよく聞かせてください。

(2) 火災発生時にもっとも怖いのは、煙です

可能であれば、タオルを水で濡らし、鼻と口を覆ってください。その余裕がない場合は、衣服の袖などで鼻と口を覆ってください。宿泊室や建物から外へ出る際は、延焼防止と煙の拡散防止のため、窓やドアを必ず閉めてください。

避難経路は、必ず二方向にあります。煙のやってくる方向と反対側の非常口を選んで進んでください。すでに煙が迫ってきている場合でも、あきらめてはいけません。床に這いつくばるような姿勢で、低い位置に残っている空気を吸いながら移動しましょう。階段の段差のくぼみには、まだ新鮮な空気が残っています。

わずか数メートルであれば、息を止めて歩くことができます。宿泊室からいちばん遠い出口までは 45メートル。ポリ袋があれば、頭からかぶって、そこまで歩くだけの空気を確保できます。方向を見失いそうなときは、壁にそって進むことを意識してください。



煙についての知識

- 火災時に発生する有毒ガスの中には一呼吸で意識を失ってしまうものもある。殆どの有毒ガスは無色透明。黒や黄色の煙は危険だが白い煙は安全…ということは、ない。
- 煙は、はじめのうち廊下や部屋の天井近くを漂い広がって行く。しかし遠方まで拡散すると温度が下がるため、天井付近からしだいに降下し、人間の視界を遮ってしまう。
- 火災状況下では、煙のためゼロメートル近くまで視界が制限される。たとえ煙を吸い込まない場合でも酸素濃度も低下するので、人間の思考力・判断力は低下してしまう。
- 煙のスピードは、水平方向では人間が歩く程度の速さ。階段など垂直方向では、人間が走る速度よりもはるかに速い。窓やドアが開いたままだと延焼は加速し、煙の勢いが衰えない。

(3) 屋内での避難時安全姿勢

火災の時は、煙にまかれないうちに脱出することが最重要課題です。一方で、転倒や押倒しも、致命的な怪我を負う事故を誘発するおそれがあり、大変危険です。避難時は、片手で反対側の自分の腕を押さえる——。これが、不用意に前方のひとを押さない避難時安全姿勢です。

避難時は、移動スピードの速さよりも避難開始のタイミングの早さが重要です。決断は早く、行動は落ち着いて！ 一人の犠牲者も出さないよう安全に避難しましょう。



地震発生時の初動

(1) 地震発生時の行動の原則は、「安全行動1・2・3」です

しゃがむ／隠れる／待つ——の安全行動により、地震発生時は姿勢を低くして自分の安全を守るよう、児童生徒に指示してください。揺れがおさまるまでは、机の下などでじっと待機してください。近くに机などが無い場合でも、手や腕、カバンや本など何でも使って、体（とくに頭部）をカバーしてください。



安全行動1 しゃがむ
瞬間的にしゃがんでください。直立のまま転倒して頭部を打つと、最初の一撃で致命的なダメージを負う恐れがあります。その場から動かされないように姿勢は低くしましょう。



安全行動2 かくれる
最重要課題は、頭部を保護することです。火を消しに行ったり出口を確保しに行ったりすることよりも、机の下など、頑丈なものの下に隠れることを優先しましょう。



安全行動3 じっとまつ
激しく揺れているのは、長くて一分間くらいです。すごく長く感じるかもしれませんが、揺れている間に動くのは危険です。揺れが収まるまでその場に留まり、動かないようにしましょう。

(2) 施設損壊や火災が発生した場合

施設損壊や火災が発生した場合は、非常放送等により利用者へも知らせます。放送等の内容を落ち着いてよく聞いて、「発生場所・避難場所・避難経路」を確認してください。

ただし、最初の激震で非常放送を使用できなくなる可能性があることも想定されます。大きな地震が発生したときは、損壊や火災を目の前で目視できない場合でも、一旦は安全な場所に避難することを原則としてください。



(3) 避難開始時、避難中、避難完了時の行動



避難開始を決断したら、利用団体代表者は、避難開始時の人員確認を行ってください。

利用団体代表者は、「進め」「止まれ」「段差あり」等の合図を的確に行い、避難中の児童生徒の安全確保を行ってください。

避難が完了したら、利用団体代表者は、児童生徒を集合場所に整列してすわらせ、避難集合場所に待機している自然の家職員に避難人数等を報告してください。

一度避難してから宿泊室に戻ることは、絶対にやめてください。

消防車，救急車の呼び方

(1) 迷ったら，出動要請する

「意識障害」「痙攣（けいれん）」「大量出血」「顔面熱傷」などがある場合は，緊急度が高いため直ちに救急車を呼ばなければなりません。「喉にものを詰まらせた」場合なども，取り出せなかった場合に救急車を呼ぶというのではなく，異物除去を行うと同時に直ちに 119 番に電話しましょう。

意識障害とは，全く意識がない場合のほか，意識があっても朦朧（もうろう）としている場合，意味の分からないことを言いだした場合，ふだんと応答の様子が違う場合などのことを言います。

(2) 通信指令室との応答要領

消防本部	通報者（応答の例示）	ポイント
	119 番する。	下記①～④を参考に，火災の状況や傷病者の様子のある程度把握しておく。
「119 番消防署です。 火事ですか？ 救急ですか？」	「火事です。」 (救急の場合,「救急です。）」	尋ねられる順に答えるのが基本。慌てず，ゆっくり，はっきり話す。
「場所(住所)はどこですか？」	「福山市金江町藁江(わらえ) 619-2, 県立福山少年自然の家です。」	管理棟かその他の場所(体育館, 研修室, 宿泊棟等)かを尋ねられることもある。
【火事の場合】 「何が燃えていますか?」「逃げ遅れた人や怪我人はいませんか?」 	「食堂棟調理室から出火しました。」 「怪我人はいません。現在職員 2 名が消火器を用いて初期消火を試んでいます。」	①出火場所(どこで何が燃えているか) ②火の勢い ③初期消火の状況 ④逃げ遅れた人や怪我人等がいる場合は,それも知らせる。
【救急の場合】 「どうしましたか?」 	「小学 5 年女子が倒れました。」 「中学 2 年男子がカッターナイフで手を深く切りました。」	①傷病者本人の名前, 年齢, 性別 ②病気や怪我の内容 ③現在の症状(意識の有無, 出血の程度など) ④既往症を尋ねられる場合もある。
「あなたのお名前は?」	「〇〇〇〇です。」	通報者の名前を答える。
「今おかけの電話番号は何番ですか?」	「090-9061-xxxx です。」 (福山少年自然の家: 084-935-7166)	かけている電話の番号を答える。
「わかりました。すぐに消防車(救急車)が向かいます。」		

(3) 119 番後のフォローアップ

消防車や救急車を呼んだときは，自然の家事務所（電話 084-935-7166）にも必ず連絡してください。正門の開錠や到着した救急隊員の誘導など，職員が迅速な救護のために必要なサポートを行います。

なお，AED（自動体外式除細動器）の使い方や CPR（心肺蘇生法）の方法などが分からない場合，そのまま 119 番で指導を受けることができます。

消火器の使い方

(1) 基本の操作手順と要領

① 安全ピンを抜く

安全ピンは、使用する瞬間まで抜かないでください。「消火器を担いで走っている間に噴射が始まってしまう」という誤操作を避けましょう。噴射可能時間は、わずか 15 秒程度の短い時間です。

② ハンドルを握る

消火器本体を地面に立ててハンドルに手をかけ、上から体重を乗せていきます。ハンドルを握るとその瞬間からすぐに消火剤が噴射されるので、ホースの口は火元に向けたままにしておきましょう。

③ ホースを向ける

ほうきで掃くような感じで火元に消火剤をかぶせていきます。炎の先端部分に消火剤をかけても、効果はありません。消火剤は、炎ではなく、燃えている物にかぶせましょう。

数十センチの直近から火元に噴射すると、熱せられた油等の燃焼物がまわりに吹き散る恐れがあります。2～3メートル程度の距離から消火を始めて、安全を確かめながら徐々に火元に近付いていきましょう。



(2) 注意事項

⚠️ 出口を確保する

室内では、必ず、出入口のドアなどを背にした位置から消火を行ってください。消し止められなかったときに出口を失うと、逃げられなくなる恐れがあります。作業しやすい位置から消火することよりも出口を確保しておくことの方を優先してください。

⚠️ 炎が天井に達したら逃げる

炎が天井に達したら、消火器で初期消火できる限界を超えます。消火活動を中止して直ちに逃げてください。火元への空気の流入を遮断するため、脱出したらドアを閉めてください。

⚠️ 風上から消火する

室外では、炎や火の粉、煙を被る恐れがあるので風上から消火します。目に見えない有毒ガスの危険性があるので、この原則を守ってください。一酸化炭素を吸い込むと数秒で意識を失うおそれがあります。

(3) 消火器、消火栓の設置場所

消火器は、付録の避難経路図の🚒マークのところに備えてあります。廊下等のどちら向きに進んでも20メートル以内に設置してあります。

消火栓は、避難経路図の🚒マークのところ（体育館前、リネン室前友情の広場に面した壁面、宿泊棟友情の広場に面した壁面の3カ所）に備えてあります。消火栓の操作は基本的に自然の家職員が行います。

心肺蘇生法 = CPR の行い方

(1) 胸骨圧迫による心肺蘇生法は一次救命処置の最重要課題

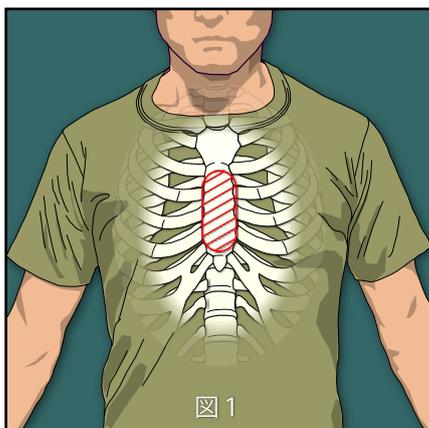


傷病者には、周囲の安全を確認してから近寄ってください。傷病者が倒れる原因となった落下物や車両が、次に救助者であるあなたに被害をもたらすかもしれません。倒れている場所そのものが不安定で危険な場所である可能性もあります。嘔吐や大量出血がないかどうか、このとき目視で確認してください。吐物や血液には直接触れないでください。

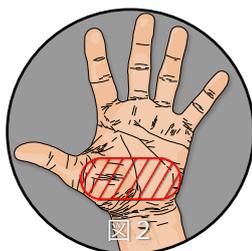
傷病者を発見したら、「大丈夫ですか」「もしもし」などと声をかけ、反応を確かめます。何らかの返答や目的のあるしぐさがない場合は、「反応なし」と判断します。次に胸や腹部の動きを観察して、10秒以内で呼吸を確かめます。呼吸の状態がよく分からない場合は、「ふだんどおりの呼吸なし」と判断します。これらの反応確認に余分な時間をかけてはいけません。反応がない場合や曖昧な場合、再確認は試みず、直ちに胸骨圧迫を開始してください。胸骨圧迫と並行して、救急車要請（119番）・AED手配・自然の家事務所への緊急連絡が完了していることを確認してください。

胸骨圧迫を連続30回行ったら人工呼吸を2回行います。一次救命処置では、人工呼吸よりも胸骨圧迫を優先します。人間は、脳への血流が停止すると10秒程度で死に始めるので、脳に血液が行かない時間を1秒でも短くすることが重要です。人工呼吸で息が上手く吹き込めない場合、人工呼吸をやり直すことよりも胸骨圧迫の再開を優先してください。

(2) 胸骨圧迫とは何か——どこを圧迫するのか

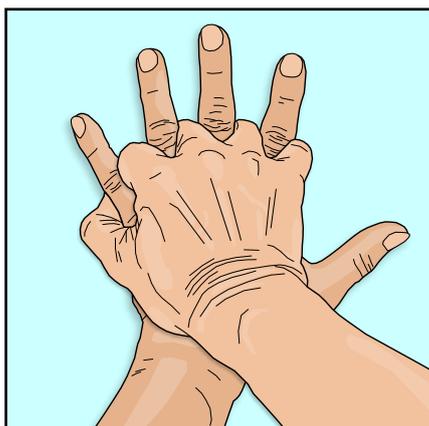


胸骨は、胸の中央にある骨です（図1）。何らかの原因で傷病者の心臓がポンプとしての機能を果たせなくなっても、胸骨を強く圧迫すれば、外部から心臓を圧縮して傷病者の全身に血液を送ってやることができます。



救助者は、傷病者の胸骨に自分の手の付け根（図2）を当てて圧迫します。胸骨の下端部にある剣状突起や肋骨を破損してはいけませんので、救助者は、自分の手が胸骨の中央部分だけに当たるように正確に位置決めしてください。

(3) 胸骨圧迫の方法——どのように圧迫するか



まず、傷病者を仰向けに寝かせます。救助者は、傷病者のすぐ脇に膝立ちしてください。次に、肘をまっすぐに伸ばした状態で手の付け根を傷病者の胸骨に当ててください。そして、体重をかけて真上から垂直に、胸骨を強く圧迫してください。図のように、両手の指を互いに組んで圧迫する側の手の指を反らせると、圧迫する力が胸骨の中央に集中します。

圧迫の強さは、傷病者の胸が少なくとも5cm沈む程度です。テンポは、1分間に少なくとも100回の速さです。連続して絶え間なく圧迫してください。肘が曲がらないよう、また、胸骨に対して斜め方向に圧迫しないよう気を付けてください。

自動体外式除細動器 = AED の使い方

(1) AED は、管理棟 1F ロビーに設置してあります

設置場所は、「少年の灯（石油ランプ）」のとなりです。AED を格納庫から取り出したら赤いケースごと傷病者のところまで素早く持って行ってください。



管理棟 1F ロビーの事務所に対面した位置で、向かって左から順に「くつ箱」、「トイレ」、「少年の灯」、「AED 格納庫」があります。格納庫に施錠はしてありません。

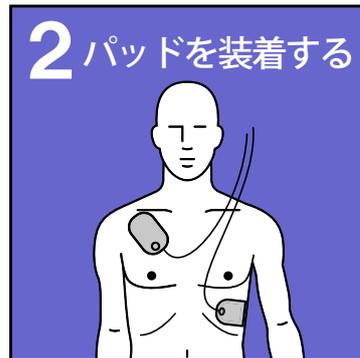


(2) AED は、音声案内に従って、簡単に使用できます

赤いケースを開くと、1・2・3の番号とイラストで操作方法が示してあります。電源を入れると音声メッセージが起動しますので、音声による案内に従って、初めての人でも簡単に操作することができます。



1 電源を入れる
操作方法は、全て音声メッセージで案内されます。騒がしいと音声聞き取れなくなるので、まわりを静粛にさせてください。



2 パッドを装着する
パッド本体にも、貼付け位置が印刷してあります。万一貼り間違えても、一旦貼ったら、はがさずにそのまま使用してください。



3 ショック・ボタンを押す
心電図解析中は、傷病者に触れないでください。電気ショックを与えるときも、誰も傷病者に触れていないことを確認してください。

(3) AED だけでは、ひとは助けられない——胸骨圧迫こそ大切

AED は、細かくふるえて血液を全身に送ることができなくなった状態の心臓に対して電気ショックを与えて細かなふるえを取り除き、心臓の拍動を正常に戻す装置です。停止した心臓を復活させる装置でも、心臓の代わりに血液を全身に送る装置でもありません。したがって、AED だけで傷病者を助けることは、不可能です。

全身に血液を送るのは、人間の手による胸骨圧迫です。胸骨圧迫による心肺蘇生法をできるだけ早くスタートして、AED を準備する間も続けてください。AED セット後も、心電図の解析や電気ショックなどやむを得ない場合を除いては、胸骨圧迫の中断時間をできるだけ短くしてください。



AED は心電図の自動解析を行います。電気ショックが必要ない場合は音声で知らせてくれるので、電気ショックが必要ない傷病者に余分なショックを与えてしまうような心配はありません。

例えば、心臓が完全に停止して細かなふるえさえ生じていない場合、AED は「電気ショックが必要ない」と診断します。この場合も AED は自動で定期的に心電図の解析を繰り返すので、電源は入れたままにしておいてください。胸骨圧迫を続けるうちに電気ショックが必要となった場合は、「ショックが必要です」というメッセージに変わります。その場合は案内にしたがってください。

喉に食物などを詰まらせた時の対応

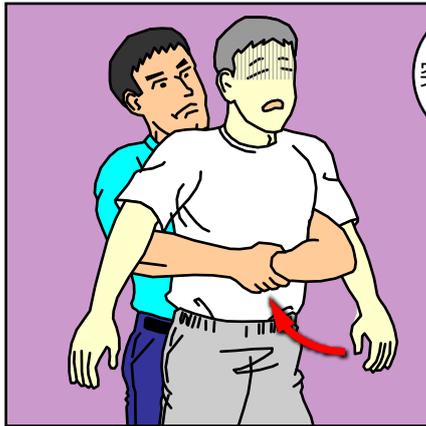
(1) 傷病者に反応（意識）がある場合 ※119番通報も行うこと

① 自分で咳をできる場合は、咳き込ませる

異物の除去にもっとも効果的なのは咳です。可能であれば、できるだけ咳を続けさせてください。

② 自分で咳をできない場合は、「腹部突き上げ法」又は「背部叩打法」を試みる

可能ならば、腹部突き上げ法を優先してください。但し、妊婦や乳児には腹部突き上げ法は行えません。



腹部
突き上げ法
(ハイムリック法)



背部叩打法

- 傷病者を後ろから抱えるように腕を回します。
- 片手で握りこぶしを作り、その親指側を傷病者のへそより上でみぞおちの十分下方に当てます。
- その手をもう一方の手で包むように握り、すばやく手前上方に向かって圧迫するように突き上げます。
- 妊婦や乳児に対しては行ってはなりません。

- 傷病者を横にならせ、救助者は背中を叩きやすいように横に回ります。手のひらの付け根で肩甲骨の間を力強く、何度も連続してたたきます。
- 傷病者が起き上がっている場合は、前かがみで頭を下げさせ、異物が口の方へ出てくるような姿勢にすると効果的です。

③ 異物が取れるか、意識がなくなるまで続ける

腹部突き上げ法又は背部叩打法の一方で効果が無ければ、もう一方を試みてください。数回繰り返すうちに、自分で咳をできるようになる場合もあります。そのときは、自分で咳をさせてください。

(2) 注意事項

⚠ 妊婦や乳児に対しては、腹部突き上げ法を行ってはならない

内臓を損傷する恐れがあります。背部叩打法での異物除去を試みてください。

⚠ 腹部突き上げ法を行った場合は、到着した救急隊にそのことを伝える

救急隊の到着前に食物などの異物を取り除くことができた場合も、医師の診察を受けさせて下さい。

⚠ 口の中に、容易に取り出せる位置に異物が見える場合や見えてきた場合は…

ゴム手袋などをしたうえで手指で取り除くことができます。容易に除去できないときは、指を入れて探っ
てはいけません。誤って押し込む恐れがあります。異物を探すのに時間を費やすこともしてはいけません。

(3) 傷病者の反応（意識）がない場合

反応がない場合や最初は反応があっても応急手当を行っている途中でぐったりして反応がなくなってしまった場合には、直ちにCPR（心肺蘇生法）を開始してください。

もしも119番がまだ済んでいない場合は、すぐにまわりの人に応援を求め、119番とAED（自動体外式除細動器）の手配をしてもらってください。

熱中症の疑いがある場合の応急処置

(1) 熱中症の症状と応急処置についての共通的事項

「熱中症」とは、暑い環境で生じる体の障害の総称です。筋肉痛、筋肉の硬直、けいれん、大量の発汗、めまい、失神、頭痛、不快感、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、意識障害、手足の運動障害、高体温等の症状を起こします。

いずれの症状の場合にも当てはまる共通の応急処置は、①涼しい場所へ避難させることと②熱を体の外に逃がすことです。



保健室に冷やした「経口補水液」を備えています。熱中症の疑いがあるときは、利用してください。

〈経口補水液が熱中症によい理由〉
その1 速やかに体温を下げる
その2 脱水症状を軽減できる

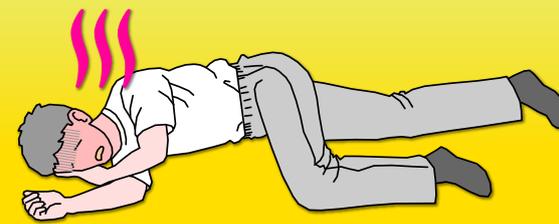
500ml入り 200円(税込実費)です。

① 涼しい場所へ避難させる

- 活動を中断し、風通しの良い日陰に移動する
- できればクーラーが効いている室内などで休む

② 熱を体の外に逃がすこと

- 衣服をゆるめて通気性をよくする
- 自分で水を飲める状態であれば、水分を取らせる
- 濡れタオルやタオルでくるんだ保冷剤を頭部や首筋に当てたり腋の下や太腿など（太い血管が通ったところ）に挟んだりする



※ 熱中症から回復するために休ませるときや救急車が到着するのを待っている間の体位について、基本的には本人にとって楽な姿勢を取らせてください。意識障害を起こしている時などには、吐物などによる窒息を防ぐため回復体位（上図参照）を取らせてください。顔面蒼白となっている場合は下肢を上げましょう（重力を利用して脳への血流を確保するため。）。

(2) 直ちに救急車を要請（119番）しなければならないケース

119 意識障害がある場合
(応答が鈍い、言動がおかしい等)

呼びかけても反応が鈍い場合やはっきりとしゃべることができない場合は、意識障害と判断してください。また、仮に意識があっても意味不明のことをしゃべっているような場合も意識障害と判断し、迷うことなく直ちに救急車を呼びましょう。

119 水分・塩分を自分で摂取できない場合

熱中症の傷病者は発汗によって脱水状態になっており、十分に水分・塩分を補うことが重要です。しかし、反応が鈍くなり自分で水が飲めない傷病者に対しては、無理に飲ませようとして水を口に入れても誤って肺に入ってしまう恐れがあり危険です。医療機関で点滴による水分補給を受ける必要があります。

119 体温が下がらない
(症状が改善しない)

汗をかかなくなり皮膚が赤く乾いているような場合は、すでに自分で体温の調整ができなくなっています。また、(1)に挙げたような応急処置を施しても症状が改善しない場合も、危険な状態が迫っています。救急車を呼んで、必ず受診してください。

(3) 誰かが熱中症になれば、他の子も同じ危険にさらされている

熱中症になりやすい人とそうでない人がいることは事実です。また、同じ人であっても、食事の摂り方や前夜の睡眠の状況によって熱中症になりやすいかどうかが同じでないことも事実です。しかし、誰かが熱中症になれば、他の子も同じ危険にさらされているということを見落としてはなりません。多くの子どもたちが熱中症「直前」だった場合には、例えば10人くらいの子もたちが次々に倒れるということも可能性としてゼロではありません。そうすると、応急処置自体が困難になることも考えられます。

誰かが熱中症になったときは、活動状況や子どもたちの様子を確認するだけでなく、一時中断して休憩を取るとか参加者全員に水分補給を指示するなど、組織的に具体的手立てを打つことが大事です。

下痢，嘔吐時の対応

(1) 傷病者が何らかの感染症に罹っていることを前提とした対応

糞便や吐物については、ノロウイルスや O-157 等を含んでいることを前提とした処理をします。利用者の中に下痢や嘔吐が発生した場合は、次の点に留意した初期対応を行ってください。

- ①糞尿や吐物に直接触れてはいけません。
- ②自然の家事務所に緊急連絡してください（保健室に処理キットを備えてあります。）。
- ③汚してしまった寝具・シーツ等は、別処理します。他の寝具と一緒にならないようにしてください。
- ④汚したトイレ等については、消毒処理を完了するまで他の利用者の使用を制限してください。
- ⑤傷病者本人についても、他の利用者との接触を避けて保健室に一時退避して頂く場合があります。

(2) 実際の処理手順（自然の家職員が行う吐物処理作業の概要）



糞便も、これに準じた方法で消毒処理します。引率の方がマスク・エプロン・手袋・ゴーグル等による防護なしに直接糞便や吐物に触ったり、職員が現場に到着する前に糞便や吐物を拡散させたりすることがないように気をつけてください。

また、消毒作業中には、汚染が想定されるエリアに他の利用者が近寄らないよう配慮してください。

(3) 腹痛等を伴う傷病者への対応

基本的には、本人にとって楽な姿勢をとらせませす。多くの場合、横になって「つ」の字のようにうずくまると楽になりますが、それでもじっと我慢してられないような強い痛みが続くときは、救急車の出動を要請（119番）してください。

保健室は、管理棟1階にあります。体調が悪くなった方の一時的な休憩場所として御利用いただけますが、医療行為は行っていませんので御理解ください。保健室では、治療や投薬は一切できません（医師、看護師はいません。）。

アレルギー対応について

(1) アレルギー症状（可能性を含む）がある場合の初動

- ✓ アレルギー症状がある
- ✓ 原因物質を食べた（可能性を含む）
- ✓ 原因物質に触れた（可能性を含む）

アレルギーがあることが分かっている児童生徒が上記のような場面に遭遇したときは、発見者はその場を離れず、傷病者を観察して 5 分以内に緊急性を判断してください。同時に助けを呼び、エピペン（「エピペン」は商品名です）と AED（自動体外式除細動器）の準備を指示して下さい。

(2) 緊急性が高いアレルギー症状がある場合の対応

全身の症状	呼吸器の症状	消化器の症状
<input type="checkbox"/> ぐったり	<input type="checkbox"/> のどや胸が締め付けられる	<input type="checkbox"/> 我慢できない腹痛
<input type="checkbox"/> 意識もうろう	<input type="checkbox"/> 声がかすれる	<input type="checkbox"/> 繰り返し吐き続ける
<input type="checkbox"/> 尿や便を漏らす	<input type="checkbox"/> 犬が吠えるような咳	
<input type="checkbox"/> 脈が触れにくい	<input type="checkbox"/> 息がしにくい	
<input type="checkbox"/> 唇や爪が青白い	<input type="checkbox"/> 持続する強い咳込み	
	<input type="checkbox"/> ゼーゼーする呼吸	

上記症状のうち、一つでも当てはまれば緊急性が高い事態です。直ちに次のとおり行動して下さい。

- ①** 救急車を要請（119 番通報）
- ②** エピペン（商品名）を使用
- ③** 反応がなく呼吸がなければ、BLS（一次救命処置）、AED 使用

(3) アナフィラキシーとエピペンについて

アナフィラキシーとは、皮膚・粘膜・呼吸器・消化器・循環器など全身にあらわれる激しい急性のアレルギー反応です。じんましん・咳・呼吸困難・目のかゆみ・唇の腫れ、腹痛・嘔吐などの症状を呈します。発症者のうち 1 割程度は、急激な血圧低下や意識障害などを起こすアナフィラキシー・ショックに至り、生命が危険な状態となります。

エピペン（商品名）は、アナフィラキシーがあらわれたときに使用するアドレナリン自己注射薬で、医師の治療を受けるまでの間症状の進行を一時的に緩和してショックを防ぐための補助治療剤です。



STEP 1
オレンジ色のニードルカバーを下に向けてエピペンの真ん中を利き手でしっかりと握り、もう片方の手で青色の安全キャップを外す。



STEP 2
エピペンを太ももの前外側に垂直に当て、オレンジ色のニードルカバーの先端を「カチッ」と音がするまで強く押し付ける。太ももに押し付けたまま数秒間待つ。

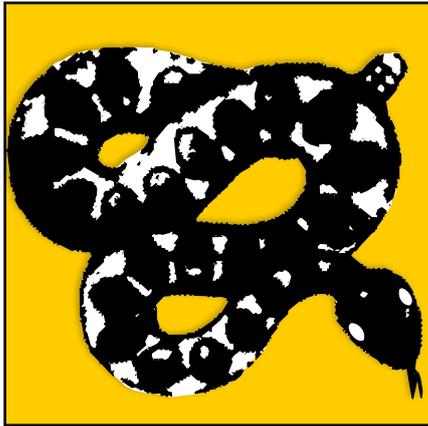


STEP 3
注射後、オレンジ色のニードルカバーが伸びたことを確認する。

危険な野生動物への対処

(1) 毒ヘビによる被害は、殆どない

「危険な動物」と聞いて多くのひとが真っ先に思い浮かべるのは、毒ヘビです。しかし、過去7年間以上、福山少年自然の家で毒ヘビに咬まれたという被害報告はありません。①もともとヘビはおとなしい動物で、特に理由がない限りわざわざ人間を襲ってくるような性格ではないこと、②福山少年自然の家の利用者は基本的にグループで活動を行うので、草むらなどにヘビが潜んでいても、大勢の話し声や足音が聞こえるとヘビの方が先に逃げていくこと等がその理由と考えられます。



従って、予防的措置として大事なポイントは、①歩くときや草むらに近づくときなどには、うっかりヘビを踏んでしまうことがないように、足もとをよく確かめること、②屋外での単行動や突発的に草むらに入るようなことは避けること等が挙げられます。③また、ヘビを見付けても、からかったり素手で捕まえようとしたりすることは絶対にやめてください。

(2) ヘビに遭遇したとき、万一咬まれたときには

ヘビを発見した場合、不用意に近付くことは避け、基本的にはその場を離れて迂回してください。ウォークラリーなどの野外活動中の場合は本部スタッフや自然の家職員に報告し、後続のグループが被害に遇わないよう連携を取ってください。

万一ヘビに咬まれた場合の対処は、次のとおりです。



やってはいけないこと

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自然の家事務所に緊急連絡する。 <input type="checkbox"/> 救急車の出動を要請(119番)する。 <input type="checkbox"/> 保冷剤などがあれば、咬まれた部位を冷やす。 <input type="checkbox"/> エキストラクターがあれば速やかに毒を吸出す。
(すぐにその場で対処するのでなければ効果はない) <input type="checkbox"/> 可能であれば、ヘビの種類を見取しておく。 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 毒を、口で吸い出そうとしてはいけない。
(虫歯等がある場合、毒を体内に取り込んでしまう) <input type="checkbox"/> 傷病者を歩かせたり走らせたりしてはいけない。
(傷病者は動かさず、救急隊の到着を待つのが基本) <input type="checkbox"/> 血流を止めるような圧迫をしてはいけない。
(止血帯による止血には専門的な知識と技術が必要) |
|--|---|

(3) 一般に危険だとは考えられていない動物の危険

リスやネコ、ハトなどは、あまり危険な動物だとは考えられていません。しかし接触すれば、わずかなひっかき傷等から菌やウイルスが入り、大変深刻な事態を招く可能性もあります。動物経由の菌やウイルスが原因となる場合もありますし、動物そのものではなくて土壌由来の菌に侵されてしまう場合もあります。また、菌やウイルスが原因ではなくて、アレルギー反応で大きなダメージを受けてしまう場合もあります。

いずれにしても、予防的措置として大事なポイントは、自然の中には危険な要素があるということを知っておくこと、野生動物には素手で触らない…ということ(野生動物に咬まれた場合、舐められた場合の対処については、「野犬への対応」のページも参照してください。)

野 犬 へ の 対 応

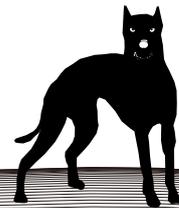
(1) 野犬を発見したときは

スポーツ広場や友情の広場などの施設内に野犬が侵入しているのを発見したときは、自然の家事務所に連絡してください。職員が、追払い措置をしたり他の利用団体も含めた利用者の安全確保のために必要な対応を行ったりします。危険なので、基本的には野犬には近寄らないでください。

しかし、既に誰かが咬まれたとか子どもたちが野犬に追いまわされている…というような状況であれば、実力行使による野犬の追払い措置など、その場にいる者が何らかの対策を講じなければなりません。ウォークラリーやオリエンテーリング等のように自然の中を歩く活動で監視ポイントに立っているときに野犬と遭遇したような場合も、そのまま放置しておくわけにはいきません。ひとつ手前の監視ポイントで子どもたちを一時待機させたり迂回するコースを歩かせたりするなど、活動中止の判断を含む種々の対応が必要です（この場合も自然の家事務所に連絡してください）。



餌となる食品や残飯を放置しないことなど、動物をおびき寄せないための予防的措置に御協力ください。



(2) 野犬を追い払うときの注意

Do, とるべき行動 / 実行のヒント

- 必ず、長棒などを持って行く（新聞紙を丸めただけの固棒でもよい）。
- 懐中電灯の光を照射したり水道水を放ったりするなど、ケガをさせない方法で追い払う。
- 二人組で対処すると追いやる方向をコントロールしやすい。また、二人組であれば、一人に何かあってももう一人が応援を呼びに行ける。
- 子どもたちは安全な場所まで退避させておく（計画どおりに追いやれるとは限らないから）。

Don't, やってはいけないこと

- 素手で対処してはいけない（野生動物とは常に安全な距離を取り、直接接触を避けること）。
- 捕まえることや叩きのめすことが目的化してしまっはいけない。
- 単独行動で対処しようとしてはいけない。
- 見ている子どもたちに動物に対する憎悪や必要以上の恐怖を植え付けるような行動をとってはいけない。また、人間の力を過信させるような行動もしないこと。

(3) 万一、野犬に咬まれたら

咬まれると痛いのは事実ですが、マムシやスズメバチ、ムカデのように毒を持っているわけではありません。しかし、野犬に咬まれた場合、マムシやスズメバチ、ムカデとは別の種類の大きな危険があるので、油断のない対応が不可欠です。



危険1 野犬は首を狙い、咬んだら激しく首を振ることがある

本能的に、首に噛みつくことがあります。訓練された犬では、前腕に噛みつくこともあります。多くの場合、噛みつくと同時に激しく首を振ります。このとき牙がぐいぐい首や腕に食い込み、傷が深く大きくなります。肉を食い千切ることもあります。野犬に襲われそうになったら、とにかく距離を取ることが大事ですが、何の防具もない場合でも腕などを使って首だけはガードしなければなりません。もしも咬まれてしまったら、手のひらで鼻先を叩くと獲物（あなたの腕です）を放すことがあります。



危険2 わずかな傷がもとで深刻な感染症にかかることがある

深刻な感染症にかかる恐れがあります。すぐに傷を大量の水道水と石鹸でよく洗い、アルコールで消毒してください。どんなに傷が浅くても、必ず医療機関で受診してください。

スズメバチへの対応

(1) スズメバチやスズメバチの巣を発見したときは

危険です。近寄らないでください。駆除または立入禁止措置を講ずるので、自然の家事務所に連絡してください。

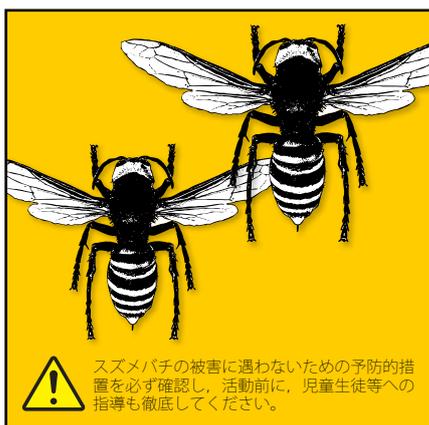
Yes, その時、とるべき行動

- 気付かれないように、静かにそろーっと後退してスズメバチの巣から離れる。
- すでにこちらに気付いているような場合は、目も口も閉じ、姿勢を低くするか立木のように棒立ちになってじっと待つ。
- 待っていて特に警戒行動（※次項参照）が見られない場合は、静かに後退する。

No, やってはいけないこと

- 砂を投げて追い払おうとしたり、タオルや帽子で叩き落とそうしたりすることは厳禁。
- 大声を上げて騒ぎ立ててはいけない（結果的にスズメバチを挑発することになるから）。
- 急に向きを変えたりいきなり走って逃げたりすることは避ける（スズメバチは、急激な動きに反応しやすいから）。

(2) スズメバチの警戒行動にさらされたときは



スズメバチは、外敵から巣を守るために、次のような警戒行動をとって人間を威嚇します。

- ✓ まどわりつくように、繰り返しひとの間近を旋回する。
- ✓ ヘリコプターのようにホバリングして、人を凝視する。
- ✓ 顎をかみ合わせてカチカチと威嚇音を立てる。

こういうときは、低い姿勢を取るか、棒立ちのままじっと待ってください。こちらが攻撃的態度を取らなければ、5分程度で「コノニンゲンハ危険デハナイ」と判断してスズメバチは飛び去ります。5分間は短い時間ではありませんが、スズメバチが自主的に去るのを待つのが基本です。「痺れを切らしたら刺される」と覚悟しなければなりません。

スズメバチが威嚇音を出すのを止めて警戒行動が沈静化したら、前項「Yes」のとおり、静かに後退してください。

(3) 万一、ハチに刺されたら

スズメバチに刺されると、激しい痛みを生じます。一定時間経過後にアナフィラキシーショックを発症する可能性もあります。万一スズメバチに刺された場合の対処は、次のとおりです。

- ✓ 巣から遠く、安全な場所まで移動する（スズメバチは、連続して刺すだけでなく、さらに多数のスズメバチを呼び寄せながら攻撃を続けてくるため）。
- ✓ 自然の家事務所に緊急連絡する。
- ✓ 救急車の出動を要請（119番）する。
- ✓ 毒の吸出し器を持っている場合は、すぐに使用する（その場ですぐに対処するのでなければ、効果はありません）。
- ✓ 保冷剤などがあれば、刺された部位を冷やす。



有害植物との接触被害への対応

(1) 有害植物の種類



スイセンの根やある種のキノコには、【毒】があるので食べられません。イラクサにも毒があつて、食べなくても、茎や葉に生えた毛の根元にある液体に触れて、肌に強い痛みを感じます。



タラノキやサルトリイバラなどには【鋭い棘】があります。スポーツ広場でフェンスを越えてしまったボールを回収に行く時などは、手指を傷つけたり衣服を引っ掻けてしまったりするので注意が必要です。ササやススキの葉には【ガラス質の鋸歯】があつて、触れると手指を切ってしまうことがあります。これらの葉を手掛かりにして崖などをよじ登ろうとすると、手のひらをざっくり深く切ることがあります。



人によっては、ウルシやヌルデなどに接触するとかぶれの症状が出ます。ウルシやヌルデによるかぶれは、毒によって起こる反応ではなくて【アレルギー反応】です。赤み(発疹)、プツプツ、水ぶくれ、かゆみを伴った痛みなどの症状を発現します。

(2) 知っておきたい予防的手立て



ヌルデ。どんな植物が危険なのか実物や写真などの見本によって参加者本人が事前によく知っておくことが大切です。

基本的には、【毒】、【鋭い棘やガラス質の鋸歯】、【アレルギー反応を引き起こす植物】には接触しないことが大事ですから、野外で活動を行うときは素肌を露出しないよう衣服等に気を付ける必要があります。

- ✓ 長袖、長ズボンを着用する
- ✓ 帽子をかぶり、首にタオル等を巻く
- ✓ 手袋を着用する
- ✓ サンドルを避けて靴・靴下を履く
- ✓ ゴーグルを着用する

熱中症対策とのバランスを取るような配慮は必要ですが、こうした服装はマダニに対しても有効です。但し、当然のことながら、口から入る毒に対しては無効なので、くれぐれも誤食がないよう注意してください。

(3) かぶれの木の葉や枝、樹液に触れた場合は…

ウルシ、ヌルデなどに対してアレルギーがない人にとっては、かぶれの木と言っても、万一接触しても何らかぶれの症状を発現するものではありません。しかし、アレルギーがあると分かっている人がこれらの葉や枝、樹液に触れた場合には、放置してはいけません。

- すぐに流水で洗い流す（水道がない場合はお茶でもよい）
- 痒みがあるなら、抗ヒスタミン剤を塗る
- 濡れタオルや保冷剤で冷やす（腫れや痒みが緩和される）
- 腫れや痒みがひどい時は、医療機関で受診する



アレルギー反応は、時間を置いて発現したり、時間の経過とともに悪化したりすることがあるので注意が必要です。

かぶれたとき、
してはいけないこと

- 掻いたり擦ったりしないこと。
(これがいちばん難しい)
- ウルシやヌルデの樹液などが付着した手で他所に触れないこと。



※ かぶれの木に触れて発症する腫れや痒みはアレルギー反応のため、他人に感染することはありません。

マダニに咬まれたときの処置について

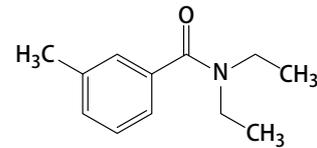
(1) 知っておきたい予防の手立て

ダニやノミに咬まれると、痒みを生じます。マダニの場合、咬まれても痛くも痒くもありませんが、感染症にかかる恐れが知られています。野外で活動を行うときは素肌を露出しないような衣服を着用するなど、咬まれないようにする配慮が必要です。

マダニには DEET という化合物が忌避剤として有効なので、DEET を含む虫除けスプレーを吹きかけると咬まれにくくなります。

- ✓ 帽子をかぶり、首にタオル等を巻く。
- ✓ 長袖、長ズボンを着用する。
- ✓ 手袋を着用する。
- ✓ サンドルを避けて靴・靴下を履く。
- ✓ 明るい色の服を着る（衣服に付いたマダニを発見しやすい）。
- ✓ 虫除けスプレーを活用する。

DEET(ディート)



DEET は、マダニの他、イエダニや蚊などに対しても有効な忌避成分です（殺虫剤ではありません）。

福山少年自然の家の宿泊棟と三角棟では定期的に薬剤噴霧と一斉清掃を行ってダニなどの駆除を行っています。しかし、自然の中にある施設なので、これらの不快害虫の侵入を完全に防ぐことはできません。また、就寝中は、活動中の昼間と比べて服装なども無防備になりやすくなります。

できるだけ虫に刺されないよう、夜間も虫除け剤を効果的に使用してください。

(2) 活動後や入浴時に確認すること

マダニはクモの仲間で、大きさ 3～4mm 程度の小さな虫です。草の葉などについていて、そこを通りかかる動物や人間に乗り移って血液を吸います。

犬を散歩に連れて行って草むらの中を通ると、帰ってきたらマダニに咬まれていたということがよくあります（マダニ自体は、どこにでもいるふつうの虫です）。

放置しておくとも一週間程度犬の皮膚に食いついて吸血し続けるので、たっぷり吸血したマダニは肥大化して 1cm 程度になり、豆粒のように見えます。このときしっかりマダニを摘み取ると、食いだんだん口器が犬の皮膚の中に残って化膿することがあります。

屋外で活動した後は、衣服にマダニが付いていないことを確認しましょう。

- ✓ 屋内へ入る前に、衣服の表面をよく払う。
- ✓ 発見した時はガムテープなどで取る。
- ✓ 脱げるものはその場で脱ぎ、屋内に持ち込まない。
- ✓ 背中や頭は、二人一組でお互いに見合う。

しかし実際には、「気が付いたら咬まれていた」というケースがほとんどです。入浴時に次のことを点検しましょう。

- ✓ 咬み跡がないかどうか確認する。
- ✓ マダニが吸着したままになっていないか確認する。
- ✓ 首や手、足首など露出したところを重点的に見る。

(3) 被害が確認されたときには

マダニに咬まれたときに問題となるのは、感染症です。日本紅斑熱の場合、発症すると頭痛や悪寒をともない 39℃ 以上の高熱が出ることがあります。重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の場合ですと、発熱・血小板減少・白血球減少・胃腸症状などが現れます。潜伏期間はそれぞれ 2～8 日、6 日～2 週間程度なので、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で受診して下さい。吸血中のマダニを発見したときは「ワセリン法」という自分で処置できる方法もありますが、基本は医療機関で受診することです。



吸血中のマダニを発見したとき、してはいけないこと

- 指やピンセットで、そのまま引っ張って皮膚から取り除こうとする（口器がちぎれて皮膚内にのこってしまうことがあるから）
- 皮膚に吸着したままの状態、押しつぶしたりメスで切ったりする（体液などが皮膚内に逆流してしまうと感染症の危険性が增大してしまうから）
- 活動が一段落するまでとか退所するまで放置する（うっかり何かに接触する恐れがあり、上記のような悪いことが起こる可能性があるから）

ワセリン法

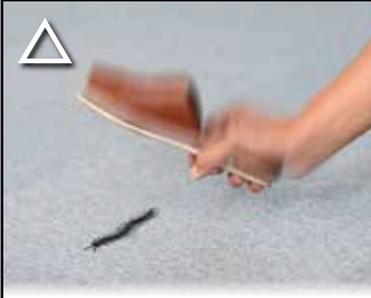
- ①ワセリンでダニの虫体ごと刺咬部を被覆する
- ②30 分間放置する
- ③ガーゼや布で拭き取る

宿泊室でムカデが出てきた時の対応

(1) ムカデの侵入に対して、完全な予防的手立てはありません

ムカデは肉食で小さな昆虫などを餌とするため、餌となる昆虫などのいるところでは、どこにでも出てくる可能性があります。福山少年自然の家では、宿泊室内の害虫駆除を計画的に行うほか、建物のまわりにも害虫が近寄らないように忌避剤をまいています。しかし、自然に囲まれた施設なので、ムカデ等が部屋の中に入ってくるのを完全に防ぐことは不可能です。

(2) 駆除——その場にいる人、そこにある道具だけが頼りです

		
<p>△</p> <p>ゴキブリの場合スリッパの一撃で完全にK.O.できますが、ムカデは、スリッパで叩いたくらいでは殆ど効果がなく、隙間から簡単に逃げて行ってしまいます。</p>	<p>△</p> <p>不意に現れるムカデに対しては、その場にあるものを使用して対処せざるを得ません。しかし、丸めた新聞紙や冊子で叩いたくらいでは、K.O.は不可能です。</p>	<p>○</p> <p>丸めた新聞紙や冊子を使用するときは垂直に突き立てて、ムカデの動きを封じます。ブロックに失敗して取り逃がすと、安心して眠ることが難しくなります。</p>
		
<p>◎</p> <p>最もスピーディーで確実なのはナイフです。ナイフを使う場合は、ボールペンでムカデを横切る線を引くような動作で、ためらわずスパッと切ってください。</p>	<p>◎</p> <p>熱湯をかければ瞬間的に殺すことができます。但し、ナイフと違って、熱湯の準備には時間がかかります。新聞紙や冊子によるブロックと併用してください。</p>	<p>○</p> <p>殺虫剤は有効ですが、残留する毒性にも注意が必要です。また、使用後は完全に清掃しないと、床材によっては拭き残しの殺虫剤は大変滑りやすく危険です。</p>
		
<p>○</p> <p>用箋バサミは、細い隙間に入り込むのを防いだり殺虫剤を使用できる場所まで追い込んだりするなど、ムカデの進路をコントロールするのに使用できます。</p>	<p>○</p> <p>用箋バサミは、直接押し付けてムカデの動きを封じすることもできます。こうしてブロックしている間に、事務所へ連絡したり熱湯を準備したりしてください。</p>	<p>○</p> <p>やつけたムカデは、火バサミ等で処理してください。児童生徒に被害が生じる恐れがないようなケースでは、殺さずに屋外に逃がしてやっても構いません。</p>

(3) 靴の中にムカデが入っている可能性があります

人間を攻撃しようとして待ち構えているわけではありませんが、ムカデは、靴の中に入っていることもあります。靴や上履きをはくときは、一旦逆さまにして、中に何もいないことを確認してください。

炊さん時の火傷予防と発生時対応

(1) 発生しやすい火傷



炎や灼熱した溶岩に触れて火傷することは、直感的にわかります。一方で、見かけだけで分からなくても、熱くなった鉄に触れても、火傷は起きます。また、知識や体験がなければ分かりにくいケースでも、火傷が起こることがあります。

水は熱せられて蒸発すると、体積が 1800 倍に膨らみます。上記の例では、中がまだ沸騰しているのに飯ごうを逆さまにしたので、密閉された飯ごうの中で水蒸気が逃げ場を失い、底部になったフタの隙間から熱湯を押し出したのです。

ご飯が炊き上がったら、飯ごうを逆さまにする前にフタを開けて中身を確認しましょう。炊き汁が無くなっていればOKです。

野外炊さんやキャンプファイヤーなど、火を使う活動では火傷の可能性があります。

- ご飯が炊き上がりに飯ごうを逆さまにしたところ、フタの隙間から熱湯・湯気・水蒸気が吹き出した。
- 茹で上がったうどんを流水で冷やそうとして、熱々のうどんに手を突っ込んだ。
- 熱くなった鍋・掛け棒などが素手や素足と接触した。
- 燃えている薪を別のかまどに移そうとして、薪の先が隣で活動している友だちに接触した。
- 火にかけたままの鍋にカレーのルーを投入しようとして、鍋がひっくり返って中身がこぼれた。
- 火かき棒で薪をつついていて急に火の勢いが強くなり、炎が手に触れた。
- トーチの先(灯油をしませて火をつけたタオル)が棒から外れて落ちた。
- 下に向けたトーチの先から棒にそって火が駆け上がってきた。
- トーチを持って歩いていて、揺らいだ炎の先が友だちの顔をかすめた。

(2) 予防的措置

火傷を避けるためには、子どもたち自身に発生しやすい火傷の事例を知らせておくとともに、次のような具体的手立てを打っておくことが大切です。

- 熱いものを扱うときは作業用手袋を使わせることが原則(濡れた手袋は瞬間的に熱を通すので危険。すべり止めゴムも融けるので危険。熱で融けたプラスチック類は深い火傷を負いやすく特に危険。)
- キャンプファイヤーでは、トーチの安全な取扱方法を必ず事前学習し、練習させておく。
- 鍋の中身を扱うときは、必ずかまどから下ろしてからやらせる。
- トーチ等の用具は指導者が責任を持って事前確認し、必要なら補修しておく。
- 化学薬品による火傷や低温火傷の原因となり得るものも洗い出し、危険物は監視下に置く。

(3) それでもなお火傷してしまった時の対処

Do, 流水で冷やすことが原則

- 水道水などの清潔な流水で十分に冷やす。
- できるだけ早く冷やす(放置している間にも火傷は進行するから。)
- 衣服を着ているときは、衣服ごと冷やす。
- 熱気を吸い込んだ場合、広範囲に火傷を負った場合は、直ちに救急搬送する(喉内部を火傷していたら気道内が腫れて窒息するので一刻を争う。火傷面積が広いと呼吸ができなくなるし、感染症の危険性も高まる。)

Don't, やってはいけないこと

- 氷やアイスパックは使わない(冷却しすぎると皮膚などの組織がダメージを受ける。寒くなるほど冷やすのもやり過ぎ)。
- 味噌を塗らない(昔は冷やす効果を謳われたが、実際には医療機関での処置に困る。油を塗ってもいけない)。
- 衣服を無理に脱がせてはいけない(衣服ごと皮膚が剥がれ落ちることがある。そうすると、感染症の危険性が高まる。)

打撲や裂傷等を負った時の対応

(1) 最初に緊急度、重症度などを判断する

真に緊急対応を要する切迫した事態は、そう頻繁に起こるわけではありません。傷病者自身のショックを和らげるためにも、いちいち慌てたり動揺したりしてはいけません。しかし、初期の段階で大事な兆候を見落とすと深刻な事態に陥ることは、確実です。次の手順で緊急度、重要度の判定を行ってください。

- ① 大きな声で呼びかけ、軽く肩を叩く（体を強く揺さぶってはいけません）
- ② 数秒間で呼吸の状態を見る（ふだん通りの呼吸でなければ緊急度が高い）
- ③ 大量出血がないかどうかを見る

意識障害や痙攣（けいれん）が起こっている場合、大量出血がある場合は、直ちに 119 番して救急車の出動を要請してください。反応が見られない場合や呼吸をしていない場合は、119 番通報と並行して直ちに胸骨圧迫を開始してください。自然の家事務所にも連絡してください。

頭を強く打った場合は深刻ですが、実際には、頭を打ったかどうか目撃した者がいないケースもよくあります。事故状況やの確認（原因の特定）は処置や再発防止策を考える上での重要な手掛かりにはなりませんが、緊急を要する事態では、原因の特定よりも傷病者の観察により多くの注意を払うべきです。

緊急度・重症度が高い傷病者が発生した場合はできるだけ複数の人間で対応し、一人が消防署や自然の家事務所に連絡したり AED を運んだりしている間にも、もう一人が絶えず傷病者の様子を観察するとともに、必要なら事故現場等への進入禁止を図るなど二次災害の防止に努めてください。



119番では、胸骨圧迫の方法などについて通信指令員から口頭指導を受けることができます。傷病者を観察していて様態が急変したときには、通信指令員に知らせてください。また、通信指令員から何か尋ねられたら速やかに確認し、応答してください（「全身が痙攣しているか、それとも半身だけ痙攣しているか」、「耳や鼻から液体が出ていないか。その液体はどんな色か」等を尋ねられることがあります。）。

(2) 骨折が疑われるときは、みだりに動かさない

痛みの程度が強く、腫れや変形がある場合は骨折が疑われます。休ませる時の体位は、傷病者本人が痛みを感じない楽な姿勢を取らせることが基本です。すぐに病院への搬送が可能な場合は、副木は必要ありません。足を骨折した場合やじっとしていても痛みが酷いような場合は「ステイ（その場でじっと待たせること）」が基本です。傷病者をみだりに動かさず、救急隊員の到着を待ってください。



開放骨折の場合に、絶対にしてはいけないこと

開放骨折とは骨折部が体外に開放されている状態の骨折です（複雑骨折とも言います。）。感染症の危険があるため皮膚から露出した骨折部を触ったり洗ったりしてはいけません。緊急手術が必須です。

(3) 大量出血があるときは、直接圧迫止血する

大量の血液を失うと血圧が下がり、酸素が脳まで届かなくなるので、人間は数秒で死に始めます。傷口をタオルで直接覆い、タオルの上から手で押さえて傷口を塞ぎ、出血を止めてください。

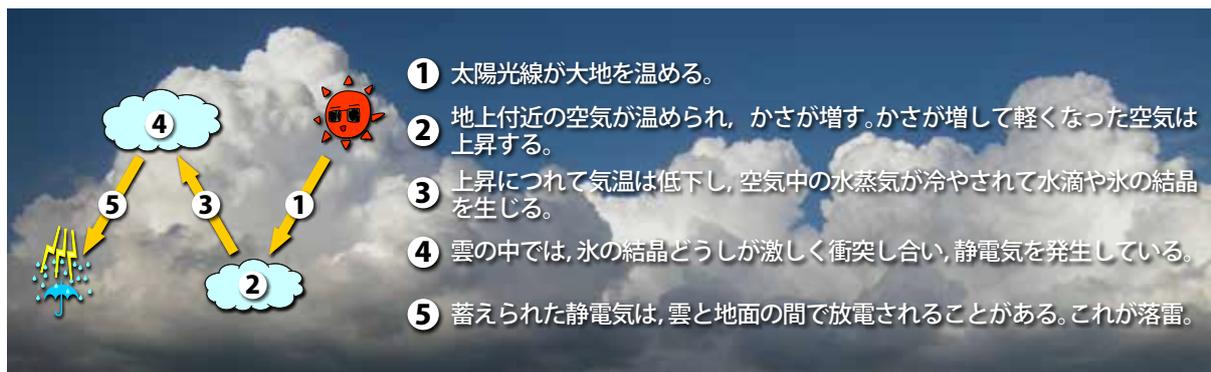
- ✓ 清潔なタオルを使う（タオルがない場合はハンカチ等で代用）
- ✓ 乾いたタオルを使う
- ✓ 救護者は手にビニール袋などを被せ、血液に直接触れないこと



包丁やガラス片が深く突き刺さっている場合の留意点

包丁やガラス片が栓となっている場合があります。うっかり引き抜くと大量出血する恐れがあるので、深く突き刺さった包丁やガラスは、抜かずにそのまま固定し、救急隊の到着を待ってください。

風雨や雷の危険性



(1) 雷発生，落雷のメカニズム

雷発生の仕組みには季節や地形などによってさまざまなモデルがありますが、上の図は、おもに夏場における福山少年自然の家であてはまるモデルについて述べた説明です。

(2) 活動プログラム実施可否の判断について

①②朝から晴れていて午後もずっと晴れていたとしても、その分大地はしっかり温められ、じつは時間の経過とともに雷の危険度はどんどん高まっています。したがって、「晴れているからキャンプファイヤーは大丈夫」と考えるのは早計です。『雷注意報』が一つの目安ですが、ア. 気象情報、イ. その場で確認できる実際の空の状態、ウ. 自然の家職員の意見を参考に、慎重に判断する必要があります。

③積乱雲の大きさは、高さ 10km、半径 10km 程度です。雷が雲のどの部分から発生するか特定はできませんが、雲の下は全域どこも危険で、『雷注意報』が出ている時は、活動は原則中止にすべきです。

④逆に、上空に雲が全くないのに雷が発生するということは、科学的にはあり得ません。しかし、何もなかったところに急速に積乱雲が発生することも十分にあり得ることで、“安全な状態” からわずか 10 分程度で危険な状態に移行することも現実にはあります。大事なことは、たとえウォークラリーやキャンプファイヤー等を実施することに決定しても、いつでも安全に避難できるように、ア. 誰が「中止」を決断するのか、イ. 何を中止と決断するスイッチとしておくか、ウ. 緊急時の避難方法はどうか——等の要件を予め決めておくことです。

⑤地上への落雷とは別に雲の中で発生する放電もあります。それ自体に危険はありませんが、雲の中で発生する放電による稲妻（ピカピカ）や雷鳴（ゴロゴロ）は、「中止と決断するスイッチ」として重要なサインとなります。例えば、ア. 遠くでピカピカが見え又はゴロゴロが聞こえたら、直ちに活動は中止。すでに大変危険な状態で、1 分以内に直近に落雷があってもおかしくありません。イ. 空が急に暗くなり始めたら、速やかに活動中止。積乱雲が急速に発達している証拠で、数分後に突然落雷する可能性もあります。ウ. 急に涼しい風が吹いて来たら、間もなく活動は中止と覚悟する。じきに雨が降ります。

(3) 稲妻，雷鳴に見舞われたとき

- ✓ 広場など開けた土地に居とどまることは絶対やめ、直撃雷を避ける。
- ✓ 体育館・管理研修棟・宿泊棟などの建物の中、車があるなら車の中に入るのがいちばん安全。
- ✓ 立木があるときは、保護範囲（てっぺんから 45° の範囲）に入る。
- ✓ 枝先から 2m 以上、建物外壁から 4m 以上、屋内でも壁や電気製品から 2m 以上離れ、側撃を避ける。
- ✓ 低くしゃがんで両手で耳を塞ぎ、両足をくっ付けた格好の安全姿勢をとる。
- ✓ 平均で 1 分程度の放電間隔を利用して、「安全姿勢」と「素早く移動」を繰り返し、安全地帯まで逃げる。
- ✓ 雷撃を受けた人がいる場合は、CPR＝心肺蘇生法を施す。

道迷いの予防、道迷い発生時の対応

(1) 野外を歩く活動で道に迷った時の子どもたちの動き

- 道に迷った場合は、歩いてきた道に戻って“現在地を確認できる場所”まで戻ることが原則です。
- 怪我や体調不良等で歩く活動を続行することが難しくなった場合は、みだりに動くことはせず、巡回のスタッフや後続のグループを見付けて本部からの助けを求めることが原則です。
- 道に迷った状態で、かつ何らかのアクシデントに見舞われて歩く活動を続行することが難しくなった場合は、グループ全員がその場に留まって捜索隊がやってくるのを待つのが原則です。
- しかし上記の場合であっても、捜索隊がやってくるの見込めないような状況下では、動けない人はその場に留まらせ、誰かが“現在地を確認できる場所”まで戻るか巡回のスタッフ等を見付けて助けを求めることが原則です（その際、動けない人も助けを求めに行く人も、決して単独にはさせないことに注意してください。また、移動する際は歩いてきた道や正規のルートを通ることが原則で、安易な推量で近道の通行を試みるべきではありません。なお、日没が近い場合やすでに日が暮れてしまった時は、誰かが動ける状態であっても、全員がその場に留まることが原則です。）。

【現在地を確認できる場所の例】

ウォークラリーでは、クイズやゲームなどの課題が設定された「チェックポイント」(左図)
オリエンテーリングでは、白とオレンジ色に塗り分けられ番号が付された「コントロール」(右図)



(2) 監視スタッフや本部スタッフの業務

監視スタッフの最も重要な業務のうちの一つは、チェックポイントなどで子どもたちの安全を確認することです。具体的な事務処理事項は、担当するチェックポイントで通過するメンバー全員の無事を確認し、「①どのグループが、②何時何分に、③どの地点をどの方向に進んでいったのか」、ア. 確認し、イ. 記録して、ウ. 次に通過予定のチェックポイントの監視スタッフに連絡することです。本部スタッフは、できるだけ全ての通信を傍受してどこで何が起きているのか全体把握を行ってください。



【通過確認の際の注意点】

- ①ゼッケンで呼称する。人数だけでなく、メンバーの内容も確認すること。
- ②時刻で呼称する。5分前に、10分前に…という表現をしないこと。
- ③誤った方向に進んだ場合は、特に気を付けて実際に進んだ方向を正確に記録すること。

監視スタッフは、「次はどのグループがやって来るはずだ」と予測を立てながら子どもたちの通過確認を行ってください。1番が来て2番が来て3番が来ないのに4番が来た場合、しばらくして3番が来れば、たまたま3番のスピードが遅かったか途中で道に迷っただけでしょう。しかし、もしも3番が来ないまま4、5、6番が到着するようだと、3番のグループは何らかのエラーかアクシデントに見舞われている可能性があります。このようなときは、本部スタッフに連絡して指示を仰いでください。

本部スタッフは速やかに自然の家職員と連携して対応策を立案してください。

注意することは、行方不明の可能性に気付いた監視スタッフが持ち場を離れたり勝手に別の監視スタッフに捜索を依頼したりしてはいけません——ということです。子どもたちは、道に迷ったら元の場所に戻るということが原則です。さっきまでいたはずの監視スタッフがいなくなっていたら子どもたちはパニックに陥る恐れがあります。また、同じ理由で、受け持ちのチェックポイントを全てのグループが通過完了しても、決して許可なく本部に帰投してはなりません。チェックポイント撤収の際は、必ず本部スタッフからの指示を確認してください。

(3) 行方不明が発生したときには

初期段階では自然の家職員が捜索し、状況に応じて警察に応援を求めます。

本部スタッフは、「①どのグループが、②何時何分に、③どの地点をどちらに向かって進んでいったのか」当該グループの最終確認情報を正確に把握して自然の家職員と連携してください。

不審者対応(意図の不明な侵入者等)

(1) 職員や利用者ではなさそうな見慣れない人を見かけたら



適切な不審者対応の在り方の第一は、「出会う人みんなに気持ちのよい挨拶をする」ことです。こうした声かけ行為には、①悪意のある侵入者に対する牽制効果や②見かけ上不審に感じられるだけの人物を区別するフィルター効果があります。

挨拶の声かけをしてみて、それでもやっぱり不審に感じられるようであれば、第二の対応は、自然の家職員に通報することです。

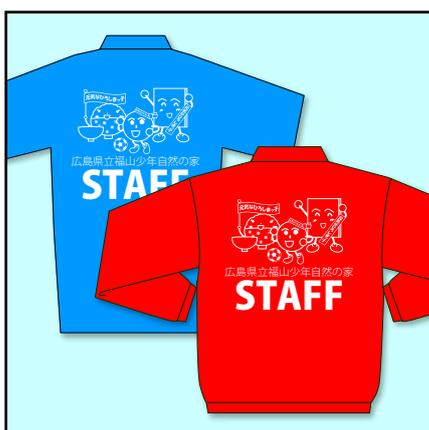
通報を受けた自然の家職員は、①要件を尋ねる、②凶器などを所持していないかの確認、③言動が不自然でないかの確認等の対応を行います。また、状況によっては、これよりさらにもう一段階踏み込んだ対応を行います。

(2) 利用者一人ひとりの個人情報への配慮や安全確保について

外部から利用者個人に対して面会の依頼や電話の取次ぎ依頼があった場合、福山少年自然の家では利用団体代表者に連絡をします。利用団体代表者による対応をお願いします。事務所では、「自分は親戚で近くまで来たのでこれこれこういう子に会わせて欲しい」という依頼には直接お応えは致しませんし、「これこれこういう子がいるかどうか」という照会にもお答えしません。

利用団体代表者であっても、利用者本人や家族状況の実情に応じた、的確な対応を行ってください。

(3) 利用団体代表者自身が不審者だと誤認されないために



職員は、県で既定した名札の他、キャンプネームの名札を付けていることがあります。

福山少年自然の家では、職員は夏季は空色のポロシャツ、冬季は赤のジャンパーを着ています。職員の他にも、委託業者(清掃、自動販売機、電気設備点検等)が施設内で作業をしていることがあります。また利用日によっては、他の利用団体が宿泊していることもありますし、一日利用(日帰り)の団体が活動していることもあります。団体の構成員そのものではなく、外部講師が指導のために来所している場合もあります。

利用団体引率者の方には原則として名札等を付けて頂くようお願いをし、夕べのつどいや朝のつどいでは利用中の全ての団体が顔合わせをできるようにしていますが、それで十分な滞在者全員を把握できるわけではありません。見たことのないひとすべてを不審者だと認識していたら指導も生活もままならない…という現実的側面もあります。

そこで、利用者みなさまには、お互いに「出会う人みんなに気持ちのよい挨拶をする」ことを励行いただくとともに、次の点についても御協力ください。

- ①夜間の不要外出や徘徊の禁止。正門施錠後(21時半以降)の一時退所等の禁止
- ②外部講師や応援要員の方の入退所については、事前に計画をお知らせください
- ③喫煙される方については、喫煙ルールを厳守してください

不審者対応(加害意図が明確な場合)

(1) 不審者の意図が何であれ、取るべき第一の行動は逃げること



「刃物を振り回す人が近付いてくる」、「誰かが子どもの手を無理矢理つかんでいる」、「敷地内に入り、人びとを目かけて走っている車がある」など。こうした加害意図が明確な不審者への対応は、意図の不明な侵入者等への対応とは異なります。「気持ちのよい挨拶」をしても効果はゼロに違いありません。

取るべき第一の行動は逃げることです。同時に、自分だけでなく子どもたちも、より危険度の小さいところへ逃がさなければなりません。

(2) 勝つことが目的でもなければ逮捕することが業務でもない



- 外部からの攻撃に対しては室内に閉じこめること。既に室内への侵入をゆるしてしまった場合には、外部へ脱出すること。可能な限り不審者と別個の空間に逃げることを考える。
- 椅子、上着、カバンなど。盾として使えるものは何でも使って不審者との間に距離をとる。傘やデッキブラシなど棒状のものも盾として使える。構え方に特に決まりはないので、両手でしっかりと持ち、不審者との間に距離を取ることを第一に考える。
- ドアの隙間に指を入れようとしてきたら指を突く、包丁などを持った手を伸ばしてきたら腕を叩くなど、攻撃に対しては積極的に牽制する。牽制の打撃を加えたら、当たっても空振りしても直ちに元の態勢に戻すこと。一旦加害行動を始めた不審者の攻撃が自然に止むことはない。



- 逮捕することや不審者に勝つことが目的化してしまえば、いけない、自分の身を守ること。子どもにもケガをさせない。そのことだけを考える。
- 大打撃を狙ってはいけない。傘やデッキブラシなどのような長棒を野球のバットをスイングするように使うと、振り切った瞬間簡単に懐に踏み込まれ、棒を奪い取られる。

Do,
逃げる / カバンなどで防御する

(3) 通り魔や人さらいに対して、最も頼りになるのは警察です



加害意図が明確な不審者に直面した場合は、大声を上げて周囲へ危険を知らせてください。この対応は、火災等を発見した場合の対応と似ています。不審者の場合は、消防署への通報を行う代わりに警察（110番）に通報しなければなりません。

また、火災発生時と同様、自然の家事務所にも連絡してください。福山西警察署から警察官が到着するまでの15分間はどんなことをしてでも逃げ続けなければなりません。自然の家事務所からの応援を得られれば、命が助かる可能性は飛躍的に高まります。

テロ及びテロ行為疑い事案への対応

(1) ソフトターゲットを狙ったテロについて



テロとは、もともとは、「政見の異なる相手、特に政府の高官や反対党の首領を暗殺したりして、自己の主張を通そうとする行為」のことですが、近年、その対象が政府高官や反対党首領だけでなく、一般の市民に及ぶようになってきました。

ソフトターゲットとは、「スタジアム、コンサート会場、遊園地、ショッピングモール等の大規模集客施設その他の自衛隊や警察によって防御されていない不特定多数者が集まる施設・場所」のことを指します。左のリストに挙げた事件（いずれも平成 28 年に発生）は、全てソフトターゲットを狙ったテロに当たります。

(2) テロが発生したときには

いきなり銃撃が始まったり大型トラックで突っ込まれたりしたときには、実行できることは殆どありません。基本的には、平素からテロ情勢等について危機意識を持ち、テロに至らないよう警戒を重ねることが重要です。

具体的には、①つねに整理整頓を心がけ、不審物等を見落とすことがないよう気を付ける、②ことさら人目を気にして歩いている人がいる場合は自然の家事務所に連絡する等、不審者対応に準じた行動が実効性ある対策と考えられます。

また、何か事件が発生すれば、大抵の場合周囲に騒ぎが起こります。最初の騒ぎを見落とさないことも、被害を最小限に止めるためには重要な要素となります。周囲に気を配る習慣を付けましょう（参考：イヤホンを付けたままだと周囲の騒ぎに気付くのが遅れる）。

それでもなおテロが発生したときは、次の点に留意しましょう。

- ✓ 姿勢を低くする
- ✓ できれば物陰に隠れる（隠れるときは、石膏ボードや板壁よりも鉄筋コンクリートなどを選ぶ）
- ✓ 可能な限り警察（110 番）や自然の家事務所（内線 15、☎084-935-7166）に通報する
- ✓ 不用意に襲撃者を刺激しない
- ✓ 廊下等では、壁にへばりつかない（跳弾は壁にそって進むことが多いから、廊下中央の方が被弾の可能性は低い）

また、機動隊等の突入時にも、誤射されることを避けるため次の点が重要です。

- ✓ 急に立ち上がらない
- ✓ 姿勢を低く保つ



(3) 不審物を見かけた時には

基本的に、持ち主や中身の分からない荷物や箱は、不審物です。とりわけ、誰か知らない人が人目のつかないところに何かを置いて行ったような場合は、警戒が必要です。臭いをかいだり不用意に中身を確認したりしてはいけません。

- ✓ 近付かない（さわらない）
- ✓ 周囲のひとに不審物があることを知らせる（近寄らないように措置をとる）
- ✓ 直ちに自然の家事務所（内線 15、☎084-935-7166）に通報する



弾道ミサイル落下時等の行動について

(1) Jアラートが発報したとき緊急速報メールを受信したときは



弾道ミサイルが落下する可能性がある場合は、「Jアラート」や緊急速報メール等により国から緊急情報が発信されます。ミサイルは、発射からわずか数分で到達する可能性があるため、Jアラート発報時は、直ちに速やかな避難行動をとることが大切です。

- ⚠️ スマートフォン等を持たない人のため、発報時は直ちに周囲にも大声で知らせて避難指示をすること。一瞬もためらってはけません。
- ⚠️ 整列・点呼等で人数確認をすることよりも先に、自分自身の安全を守らせること。

- ❶ 建物の中に避難する
- ❷ 鉄筋コンクリート等、できる限り頑丈な構造物の陰に隠れる
- ❸ 窓から離れる

(2) ミサイル等が付近に落下した場合に気を付けること

空からの落下物で危険なものは、ミサイルだけとは限りません。コントロールを失ったドローンや高所からの投下物は、過失による場合も意図的な場合も大変危険です。また、何かが落下してきたら、それで終わりではないかも知れないことも重要なポイントです。

落下物からは有害なガスが放出されていたり、破片には放射性物質が含まれていたりする可能性があります。一定時間経過後に破裂する可能性や、野次馬が多く集まったところに第二波の攻撃が加えられるという恐れもあります（いずれも実例があります。「可能性は高くないがゼロではないこと」の認識が必要です。）。

- ❶ 口と鼻をハンカチで覆い、直ちに落下物から離れて建物の中に避難する
- ❷ 屋内に逃げ込んだら換気扇を止め、窓を閉める
- ❸ できればドアや窓に目張りをして室内を密閉し、救助を待つ

(3) 具体の被害を受けた場合（避難位置を知らせるための手立て）

有事の際は、攻撃に先立って（あるいは攻撃と並行して）通信手段や電源が断たれることが考えられます。基地局やアンテナが破壊されたら、スマートフォンや携帯電話も使用できません。

しかしそれでも諦めるわけにはいきませんから、怪我や火傷を負った場合は、他のページで説明している基本的な対応により、速やかに応急手当を行ってください。AED（自動体外式除細動器）は、停電になっても使用可能です。

瓦礫の下に閉じ込められた場合やどこかに孤立してしまった場合には、笛を吹いたり石でドアなどを打撃したりすることにより遭難信号を発し、自分の存在を周囲に知らせてください。

遭難信号 ● ● ● ● ● ● ● ● （信号 6 回、1 分間休止。これを繰り返す）

時間帯別、職員の勤務体制について

(1) 福山少年自然の家では、昼間と夜間で職員が交代します

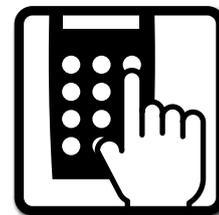
時間	県職員	指導員	当直指導員	警備員
(早朝) 6:00 から 8:30 まで	不在	不在	勤務 ・シーツ受取 ・朝のつどいの指導 …等の業務	勤務 ・施設警備 ・開錠 …等の業務
8:30 から 17:15 まで	勤務 ・施設の管理 ・宿泊諸費の徴収 ・物品の購入 ・プログラム相談 ・活動の指導と運営 …等の業務	勤務 ・利用申込みの受付 ・入所時打合せ ・オリエンテーション ・活動の指導と運営 ・退所確認 …等の業務	不在	不在
17:15 から 就寝時間 22:00 まで	不在	不在 ※ 夜間に実施する 活動の指導はでき ません。	勤務 ・浴室のボイラー運転 ・緊急時の指導対応 …等の業務	勤務 ・施錠 ・施設警備 …等の業務
(深夜) 就寝時間 22:00 から 翌朝 6:00 まで	不在	不在	勤務 ・緊急時の指導対応 …等の業務	勤務 ・施設警備 …等の業務

(2) 事故や怪我、火災発生の場合は、直ちに連絡してください

内線 15 事務室

内線 10 当直指導員室

内線 19 警備員室



(3) 付近に内線電話がない場合は、携帯電話からも連絡できます

電話 084-935-7166

事務室、当直指導員室、警備員室にある電話を同時に呼び出します。

夜間の緊急連絡方法について

(1) 早朝及び夕方から就寝時刻 (22:00) までの連絡先

内線 15 事務室

※ 内線電話を御利用の際は、受話器を持ち上げて、そのまま「1」「5」をプッシュしてください。
17：15 までは、昼間の指導員が対応いたします。
17：15 以降は、当直指導員が対応いたします。

(2) 深夜 (22：00 ～ 6:00) の連絡先

内線 10 当直指導員室

内線 19 警備員室

浴室のボイラー停止や管理棟の施錠等の業務を完了した後は、当直指導員は当直指導員室、警備員は警備員室に常駐しています。

怪我や急病などで救急車を要請する場合や不審者を見かけた時など深夜に何かお困りのことがある場合は、当直指導員室 (内線 10)、警備員室 (内線 19) まで御連絡ください。

(3) 携帯電話や外線等からは、次の番号にかけてください

電話 084-935-7166

事務室、当直指導員室、警備員室にある電話を同時に呼び出します。



事故や怪我，火災発生の場合は、直ちに連絡してください。

近隣の医療機関等連絡先一覧

(1) 医療機関

区分	名称	電話番号
総合	福山市民病院	084-941-5151
	尾道市民病院	0848-47-1155
	尾道市民病院（夜間）	0848-47-0099
	JA 尾道総合病院	0848-22-8111
	神原病院	084-951-1007
	神原病院（夜間）	084-951-1998
	沼隈医院	084-988-1888
小児診療所	福山夜間小児診療所	084-922-4999
内科，外科	西福山病院	084-933-2110
整形外科	寺岡整形外科病院	084-923-0516
歯科	歯科医師会館	084-941-4444
	荒木歯科医院	084-933-3757
脳外科	脳神経センター太田記念病院	084-931-8650
眼科	錦織眼科医院	084-933-2944
耳鼻咽喉科	平木耳鼻咽喉科	084-934-2798

(2) 消防署，警察署

区分	名称	電話番号
消防署 119 番	福山西消防署	084-934-1355
	消防指令局（夜間・休日時の病院の紹介）	084-928-1194
警察署 110 番	福山西警察署	084-933-0110

(3) タクシー

名称	営業所等所在地	電話番号
中央交通	本社（本郷 2950-1）	0120-33-4181
	福山営業所（明神 2-3-30）	0120-31-4181
松永タクシー	本社（松永 342-7）	0120-363-500
	福山営業所（山手 6-24-19）	0120-418-185